

航空従事者学科試験問題 P11

資格	事業用操縦士(動滑)(上滑)	題数及び時間	20題 40分
科目	航空気象〔科目コード：02〕	記号	A3GM021770

◎ 注 意 (1) 「航空従事者学科試験答案用紙」(マークシート)の所定の欄に、「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」及び「科目コードのマーク」の何れかに誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格となります。

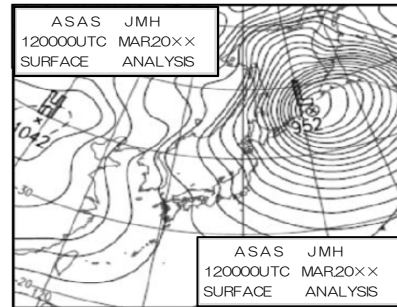
(2) 解答は「航空従事者学科試験答案用紙」(マークシート)に記入すること。

◎ 配 点 1問 5点

◎ 判定基準 合格は100点満点の70点以上とする。

- 問 1 空気塊の上昇について誤りはどれか。ただし、空気塊は水蒸気を含まず、外部との熱のやりとりはないものとする。
- (1) 上昇に伴って、外側から空気塊に加わる圧力は増加する。
 - (2) 上昇に伴って、空気塊は膨張する。
 - (3) 上昇に伴って、空気塊の内部エネルギーは減少する。
 - (4) 上昇に伴って、空気塊の温度は低下する。

- 問 2 右の地上天気図における解析日時で正しいものはどれか。ただし、日本の日時とする。
- (1) 11日15時00分
 - (2) 11日21時00分
 - (3) 12日03時00分
 - (4) 12日09時00分



- 問 3 地上天気図に表される下の前線の記号で正しいものはどれか。
- (1) 温暖前線
 - (2) 寒冷前線
 - (3) 閉塞前線
 - (4) 停滞前線



- 問 4 暖気団の特性について誤りはどれか。
- (1) 気流は滑らかである。
 - (2) 安定度は安定な気温減率である。
 - (3) 視程は良好である。
 - (4) 天気は霧雨、霧である。
- 問 5 空気塊の断熱変化について誤りはどれか。
- (1) 空気塊の移動に際して、外部との熱の出入りが全くない変化を断熱変化という。
 - (2) 乾燥断熱減率は0.3~0.9°C/100mである。
 - (3) 湿潤断熱減率は乾燥断熱減率に比べて小さい。
 - (4) 大気が上昇して飽和に達する直前までの気温減率のことを乾燥断熱減率という。
- 問 6 海陸風前線（海風前線）について誤りはどれか。
- (1) 前線の進行する前方には上昇気流が発生する。
 - (2) 日の出後2~3時間で発生することが多い。
 - (3) 前線は海風の進入する速さでゆっくりと移動する。
 - (4) 寒・暖気団の差が大きいので雲の発生を伴うことが多い。
- 問 7 国際標準大気（ISA）の気象諸元で誤りはどれか。
- (1) 完全な乾燥気体である。
 - (2) 平均海面高度での気圧は1013.25hPaである。
 - (3) 平均海面高度での気温は15°Cである。
 - (4) 気温の減率は、0~11km上空までは2.0°C/kmである。

問 8 山岳波に伴う雲で誤りはどれか。

- (1) 乱層雲
- (2) キャップ雲
- (3) レンズ雲
- (4) ローター雲

問 9 10種雲形のうち、積雲の記号で正しいものはどれか。

- (1) Cb
- (2) Cu
- (3) As
- (4) Sc

問 10 風向の違う風がぶつかることによって発生する上昇気流で正しいものはどれか。

- (1) コンバージェンス
- (2) サーマル
- (3) リッジ
- (4) ウェーブ

問 11 黄砂についての説明で誤りはどれか。

- (1) 日本で黄砂が発生することが多い時期は10月から11月にかけてである。
- (2) 黄砂は視程を悪化させる。
- (3) 黄砂は東アジアの砂漠域や黄土域から多量の砂塵が風により舞い上げられ上空の風により運ばれる。
- (4) 黄砂が舞い上げられる地域での飛散量は主に地表面の状態と地上の風速に依存している。

問 12 ショワルター指数について誤りはどれか。

- (1) 夏の雷雲発生の良い目安となる。
- (2) 指数が+6であれば、トルネードの発生の可能性がある。
- (3) 指数が+3程度であっても機械的上昇によっては発雷の可能性がある。
- (4) 850hPaの空気塊を500hPaまで上昇させたときの気温と、500hPaの空気の温度差を指数としたものである。

問 13 移動性高気圧について誤りはどれか。

- (1) 一般的に春・秋頃に多く現れる。
- (2) 寒冷型はすぐ天気が悪くなる。
- (3) 温暖型は背が高い。
- (4) 寒冷型は移動速度が遅い。

問 14 卓越視程で正しいものはどれか。

- (1) 地平円の全方位を八等分し、各方位の水平視程を平均したものである。
- (2) 地平円の全方位を八等分し、その中の最大水平視程である。
- (3) 地平円の全方位を八等分し、その中の最小水平視程である。
- (4) 地平円の半分もしくはそれ以上の範囲に共通した最大水平視程である。

問 15 台風について正しいものはどれか。

- (1) 熱帯性低気圧のうち、最大風速が17kt以上のものである。
- (2) 渦巻き状に中心へ吹き込む風が中心付近で風速が極端に大きくなると、遠心力が大きくなり中心に吹き込めなくなる。これを台風の眼という。
- (3) 時計回りに風を吹き込む。
- (4) 予報した時刻に、予報円内に台風の中心が入る確率は97%である。

- 問 16 放射逆転について正しいものはどれか。
(1) 内陸部では、風の弱い晴天時に夜間の放射冷却により逆転層が形成される。
(2) 高気圧圏内では、上空の空気が下降することによる断熱圧縮の昇温により、上空に逆転層が形成される。
(3) 寒気の上に暖気の移流がある場合に逆転層が形成される。
(4) 大気の乱れの強い空気層があり、その上に乱れの弱い空気層がある場合、乱れの弱い層との間に逆転層が形成される。
- 問 17 地上天気図に使用される海上警報の記号と内容の組み合わせ (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (5) の中から選べ。
- (a) GW : 強風警報
(b) W : 一般警報
(c) SW : 暴風警報
(d) TW : 台風警報
- (1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4 (5) なし
- 問 18 ウェーブ・ソアリングに関する正しいものはどれか。
(1) ウェーブ・リフトが発生するメカニズムはスロープ・リフトと全く同じである。
(2) ウェーブが発生するときの山頂高度付近の大気は、安定度が不安定である。
(3) ウェーブの風下の低層には乱流域があり、危険な場合もある。
(4) ウェーブは、風向が山並に対して平行か平行に近い角度のとき発生しやすい。
- 問 19 前線の持つ一般的性質のうち誤りはどれか。
(1) 前線は気圧の低い谷(トラフ)の中に存在することが多い。
(2) 前線を境にして気温差がある。
(3) 前線を境にして露点温度の差は見られない。
(4) 移動している前線は、前線を境にして気圧の変化傾向が違う。
- 問 20 ダウンバーストについて正しいものはどれか。
(1) 積乱雲の下などで地表付近に発生する強烈な上昇気流である。
(2) 持続時間は1時間以上である。
(3) 地表付近で水平方向へ広がる強烈な発散風となる。
(4) 最大風速は20kt程度である。

航空従事者学科試験問題

P17

資格	事業用操縦士（動滑）（上滑）	題数及び時間	20題 40分
科目	航空法規等〔科目コード：04〕	記号	A3GM041770

◎ 注 意（１） 「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）の所定の欄に、「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」及び「科目コードのマーク」の何れかに誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格となります。

（２） 解答は「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）に記入すること。

◎ 配 点 1問 5点

◎ 判定基準 合格は100点満点の70点以上とする。

問 1 航空法の目的について、次の文章の下線部 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (4) の中から選べ。

この法律は、国際民間航空条約の規定並びに同条約の(a) 附属書として採択された標準、方式及び手続きに準拠して、航空機の航行の安全及び航空機の(b) 航行に起因する障害の防止を図るための方法を定め、並びに航空機を運航して営む事業の適正かつ合理的な運営を確保して輸送の安全を確保するとともにその(c) 利用者の利便の増進を図ること等により、航空の発達を図り、もつて(d) 公共の福祉を増進することを目的とする。

(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

問 2 航空法における定義について次の (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (4) の中から選べ。

- (a) 「着陸帯」とは、航空機が離陸又は着陸を行うため設けられる空港その他の飛行場内の滑走路をいう。
- (b) 「航空保安施設」とは、電波、灯光、色彩又は形象により航空機の航行を援助するための施設で、国土交通省令で定めるものをいう。
- (c) 「航空灯火」とは、灯火により航空機の航行を援助するための航空保安施設で、国土交通省令で定めるものをいう。
- (d) 「計器気象状態」とは、航空機の姿勢、高度、位置及び針路の測定を計器にのみ依存する気象状態をいう。

(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

問 3 航空機の登録について次の (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。(1) ~ (4) の中から選べ。

- (a) 新規登録とは、登録を受けていない航空機の登録をいう。
- (b) 登録航空機について航空機の定置場を変更した場合は、変更登録が必要である。
- (c) 変更登録は、その事由があった日から15日以内に申請しなければならない。但し、移転登録又はまつ消登録の申請をすべき場合は、この限りではない。
- (d) 移転登録は、所有者の変更があった日から15日以内に申請しなければならない。

(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

問 4 飛行場灯火の種類に含まれないものはどれか。

- (1) 飛行場灯台
- (2) 風向灯
- (3) 地標航空灯台
- (4) 離陸目標灯

問 5 3,000m未満の高度で管制区、管制圏及び情報圏以外の空域を飛行する航空機に適合する有視界気象状態の条件で正しいものはどれか。

- (1) 飛行視程が1,500m以上であること。
- (2) 航空機からの垂直距離が上方に300mである範囲内に雲がないこと。
- (3) 航空機からの垂直距離が下方に150mである範囲内に雲がないこと。
- (4) 航空機からの水平距離が300mである範囲内に雲がないこと。

問 6 技能証明等の取り消しの適用について誤りはどれか。

- (1) 航空法に違反したとき。
- (2) 航空法に基く処分に違反したとき。
- (3) 航空従事者としての職務を行うに当り、非行又は重大な過失があったとき。
- (4) 操縦練習許可書で飛行する者には適用されない。

- 問 7 耐空証明についての記述で誤りはどれか。
 (1) 耐空証明は、航空機の用途及び安全性を確保するための強度を指定して行う。
 (2) 航空機は、有効な耐空証明を受けているものでなければ航空の用に供してはならない。
 (3) 耐空検査員は、国土交通省令で定める滑空機について耐空証明を行うことができる。
 (4) 航空機の用途を指定する場合は、航空法施行規則付属書第一に規定する耐空類別を明らかにするものとする。
- 問 8 事業用操縦士の技能証明の業務範囲で誤りはどれか。
 (1) 自家用操縦士の資格を有する者が行うことができる行為
 (2) 機長として、航空運送事業の用に供する航空機であつて、構造上、二人の操縦者で操縦することができるものの操縦を行うこと。
 (3) 航空機使用事業の用に供する航空機の操縦を行うこと。
 (4) 機長以外の操縦者として航空運送事業の用に供する航空機の操縦を行うこと。
- 問 9 航空法第70条（酒精飲料等）について、空欄（ア）～（エ）に入る言葉の組み合わせで正しいものはどれか。
- （ア）は、酒精飲料又は（イ）その他の薬品の影響により航空機の（ウ）ができないおそれがある間は、その（エ）を行つてはならない。
- | | （ア） | （イ） | （ウ） | （エ） |
|-----|--------|-----|-------|--------|
| (1) | 運航乗務員 | 睡眠剤 | 正常な運航 | 航空機の運航 |
| (2) | 航空機乗組員 | 麻酔剤 | 正常な運航 | 航空業務 |
| (3) | 操縦士 | 麻酔剤 | 操縦 | 航空機の操縦 |
| (4) | 航空機乗組員 | 睡眠剤 | 操縦 | 航空業務 |
- 問 10 航空法第28条（業務範囲）の規定により、操縦に係る技能証明の適用を受けない「滑空機」として国土交通省令で定められたものはどれか。
 (1) 初級滑空機及び中級滑空機
 (2) 中級滑空機及び上級滑空機
 (3) 初級滑空機及び上級滑空機
 (4) 動力滑空機
- 問 11 昼間障害標識の説明で正しいものはどれか。
 (1) 地表又は水面から60m以上の高さのものの設置者は、国土交通省令で定めるところにより、当該物件の全てに昼間障害標識を設置しなければならない。
 (2) 煙突、鉄塔、柱その他の物件全てに昼間障害標識を設置しなければならない。
 (3) 昼間障害標識は、塗色、旗及び標示物で示される。
 (4) 高光度航空障害灯を設置する物件は、昼間障害標識を設置しなければならない。
- 問 12 航空法第58条（航空日誌）で定める「滑空機用航空日誌」に記載すべき事項のうち飛行に関する記録で誤りはどれか。
 (1) 乗組員氏名
 (2) 飛行の時間又は回数
 (3) 曳航機の型式
 (4) 滑空機の飛行の安全に影響のある事項
- 問 13 航空法第75条により、機長が航空機の航行中、その航空機に急迫した危難が生じた場合にとらなければならない措置で正しいものはどれか。
 (1) 国土交通省令で定めるところにより、国土交通大臣にその旨を報告しなければならない。
 (2) 最寄りの航空交通管制機関に連絡しなければならない。
 (3) 国土交通大臣が航空交通の安全を考慮して与える指示に従って航行しなければならない。
 (4) 旅客の救助及び地上又は水上の人又は物件に対する危難の防止に必要な手段を尽くさなければならない。

問 14 航空機に装備する救急用具の点検期間で誤りはどれか。

- (1) 非常信号灯 : 60日
- (2) 救命胴衣 : 180日
- (3) 救急箱 : 180日
- (4) 携帯灯 : 60日

問 15 航空法第71条の2（操縦者の見張り義務）で正しいものはどれか。

- (1) 国土交通大臣の指示に従っている航行の場合は見張りの義務はない。
- (2) 雲が多いところを飛行中は見張りの義務はない。
- (3) 夜間飛行中は見張りの義務はない。
- (4) 当該航空機外の物件を視認できない気象状態の下にある場合を除き、他の航空機その他の物件と衝突しないように見張りをしなければならない。

問 16 航空法施行規則第164条の15（出発前の確認）で定める機長が出発前に確認しなければならない事項で該当しないものはどれか。

- (1) 当該航空機及びこれに装備すべきものの整備状況
- (2) 航空機による物件の曳航に関する安全上の基準
- (3) 当該航行に必要な気象情報
- (4) 積載物の安全性

問 17 航空法第59条（航空機に備え付ける書類）で定める、滑空機に備え付ける書類で正しいものはどれか。

- (1) 航空機登録証明書
- (2) 耐空証明書
- (3) 航空日誌
- (4) 上記（1）～（3）全ての備え付けは免除されている。

問 18 飛行の進路が交差し、又は接近する場合における航空機（ア）～（エ）相互間の進路権を優先順位の高い順に並べたもので正しいものはどれか。（1）～（4）の中から選べ。

- (ア) 滑空機
- (イ) 飛行船
- (ウ) 物件を曳航している航空機
- (エ) 飛行機、回転翼航空機及び動力で推進している滑空機

- (1) (ア) (イ) (ウ) (エ)
- (2) (ア) (ウ) (イ) (エ)
- (3) (イ) (ア) (ウ) (エ)
- (4) (ウ) (ア) (イ) (エ)

問 19 有視界飛行方式による飛行計画について誤りはどれか。

- (1) 飛行計画の通報は、口頭（無線電話によるものを含む。）又は文書をもって行う。
- (2) 航空機出発地を中心として半径9km以内の区域の上空を飛行し、かつ、当該区域内の場所に着陸する場合は、通報しなくてもよい。
- (3) あらかじめ飛行計画を通報することが困難な場合は、飛行を開始した後でも、国土交通省令で定めるところにより通報することができる。
- (4) 飛行計画においては、代替空港等も必ず設定する。

問 20 航空法第76条（報告の義務）に関して、報告の義務のあるものは（a）～（d）の中でいくつあるか。（1）～（4）の中から選べ。

- (a) 空港等の機能の障害
- (b) 航空保安施設の機能の障害
- (c) 火山の爆発その他の地象又は水象の激しい変化
- (d) 気流の擾乱その他の異常な気象状態

- (1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

航空従事者学科試験問題

P48

資格	事業用操縦士（上滑）	題数及び時間	20題 40分
科目	空中航法〔科目コード：01〕	記号	A3GG011770

◎ 注 意（１） 「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）の所定の欄に、「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目」、「科目コード」、「科目コードのマーク」、「資格」、「種類」、「氏名」及び「生年月日」を記入すること。

「受験番号」、「受験番号のマーク」、「科目コード」及び「科目コードのマーク」の何れかに誤りがあると、コンピュータによる採点処理が不可能となるので当該科目は不合格となります。

（２） 解答は「航空従事者学科試験答案用紙」（マークシート）に記入すること。

◎ 配 点 1問 5点

◎ 判定基準 合格は100点満点の70点以上とする。

問 1 赤道及び子午線等に関する説明 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。
(1) ~ (4) の中から選べ。

- (a) 地軸に直交する大圏を赤道という。
- (b) 赤道に垂直な小圏を距離圏あるいは平行圏という。
- (c) 子午線の中で経度の基準となるものを本初子午線という。
- (d) 地磁気の極を通る子午線を磁気子午線という。

(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

問 2 地文航法の説明 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。
(1) ~ (4) の中から選べ。

- (a) 判明している位置から飛行中の風を測定したり推測して針路を決定し、速度と経過時間から位置を推測する航法である。
- (b) 地形地物と航空図を見比べて飛行する航法である。
- (c) 無線航法援助施設からの電波を受信して、位置や針路を求めて飛行するものであり、陸上の中短距離用の航法である。
- (d) 航空機に働く重力以外の加速度の大きさと方向を検出し距離を求め、出発点からの方向と距離とから連続して位置を求める航法である。

(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

問 3 次のうち誤りはどれか。

- (1) 96 km/hは、約60 mphである。
- (2) 80 ktは、約168 km/hである。
- (3) 120 km/hは、約65 ktである。
- (4) 50 ktは、約26 m/sである。

問 4 IAS一定で飛行している時のTASについて誤りはどれか。

- (1) 外気温度が高くなるとTASは増加する。
- (2) 気圧高度が高くなるとTASは減少する。
- (3) 空気密度が増加するとTASは減少する。
- (4) 風が変化してもTASは変化しない。

問 5 ランバート図の特徴で誤りはどれか。

- (1) 航程線は直線である。
- (2) 子午線と平行圏の接線は直交する。
- (3) 各緯度線は円錐の頂点を中心とする同心円となる。
- (4) 距離の歪みが小さく、一定尺と見なして実用上差し支えない。

問 6 風力三角形について誤りはどれか。

- (1) 対気ベクトルはTASとTHからなる。
- (2) 風ベクトルはWDとWSからなる。
- (3) 対地ベクトルはGSとDAからなる。
- (4) DAはTHからTRへの角度である。

問 7 地磁気に関する記述 (a) ~ (d) のうち、正しいものはいくつあるか。
(1) ~ (4) の中から選べ。

- (a) 地球の真北と磁北は異なるので磁気羅針儀は真北を指さない。
- (b) 地磁気は場所により方向や強さも違う。
- (c) 地磁気の方向や強さは年々少しずつ変化している。
- (d) 真北と磁北の差を磁気羅針儀では自差表を用いて修正する。

(1) 1 (2) 2 (3) 3 (4) 4

問 8 相対方位について正しいものはどれか。

- (1) 航空機の機首方向を基準に物標の方位を測ったもの
- (2) 航空機の航路を基準に物標の方位を測ったもの
- (3) 真北を基準に物標の方位を測ったもの
- (4) 磁北を基準に物標の方位を測ったもの

問 9 対気速度90 km/hで滑空比 40の滑空機が、正対の向い風4 m/sを受けて、上昇気流及び下降気流のない大気中を対気速度90 km/hで8.4 km滑空する場合、失う高度はどれか。

- (1) 150 m
- (2) 200 m
- (3) 250 m
- (4) 300 m

問 10 WCAを -5° とって磁針路 040° で飛行中、相対方位 230° にアンテナが見えた。アンテナの真方位は次のうちどれか。偏差は10度西、自差は0度とする。

- (1) 255°
- (2) 260°
- (3) 265°
- (4) 270°

問 11 飛行中の錯覚に関する説明で誤りはどれか。

- (1) 上昇から水平直線飛行に急激に移行すると、パイロットは後方に倒れるような錯覚を生じ易い。
- (2) 通常より狭い巾の滑走路に進入するときは、実際の高さよりも低い高度にいるような錯覚を生じ易い。
- (3) きりもみから回復しても、次は反対方向のきりもみ状態が続いているような錯覚に陥ることがある。
- (4) 離陸中の急激な加速は機首上げ姿勢にあるような錯覚を生じやすい。

問 12 地点Aと地点B間(距離19nm)を直線で飛行した結果12分00秒であった。このときの対地速度はどれか。

- (1) 95 kt
- (2) 90 kt
- (3) 85 kt
- (4) 80 kt

問 13 空中衝突について誤りはどれか。

- (1) 相手機が衝突コースにあるときは発見しにくい。
- (2) 相手機が衝突コースにあるときは機影は一定の割合で移動している。
- (3) 相手機が正面から向かってくるときは相対速度が最も大きい。
- (4) 相手機が衝突コースにあるときは相対方位が一定である。

- 問 14 ハイポキシアについて誤りはどれか。
(1) 症状がゆっくり進行するときは、その影響を自ら認識することは難しい。
(2) 症状が進行すると、指の爪が青くなったり視野の外周が灰白化する。
(3) 大気圧の減少に対応して発症しやすくなる。
(4) 高高度では大気の酸素の占める割合が21%から5%程度に減少するために起きる。

- 問 15 過呼吸について誤りはどれか。
(1) 過呼吸と低酸素症とは初期の兆候がよく似ている。
(2) 飛行中緊迫した状況に遭遇したときに無意識に起きる心身の状態である。
(3) 過呼吸の症状が悪化すると筋肉のけいれんや人事不省となることがある。
(4) 兆候が現れたら、呼吸の速さを更に速くすることにより数分で治まるものである。

- 問 16 スキューバダイビング後の潜函病（減圧症）について正しいものはどれか。
(1) 飛行中に潜函病の症状があらわれても、着陸すれば確実に症状は治まる。
(2) 潜函病は、8,000 ft以下の高度ではほとんど発症しない。
(3) 潜函病は、つばを飲み込んだりあくびをすることにより治ることがある。
(4) 潜函病は、体の中に溶け込んだ窒素が気泡化することにより引き起こされる。

- 問 17 右下図に示す航空図用記号の意味で正しいものはどれか。
(1) 防空識別圏
(2) 飛行制限区域
(3) 管制圏
(4) 進入管制区



- 問 18 着陸のための進入中に実際の高さよりも低いところにいるような錯覚を生ずるもので正しいものはどれか。
(1) 通常より狭い幅の滑走路に進入するとき
(2) 雨を風防に受けながら進入するとき
(3) 積雪に覆われた広く平らな地形に進入するとき
(4) 下り勾配の滑走路に進入するとき

- 問 19 上下方向の加速度（G）が身体に及ぼす影響で正しいものはどれか。
(1) 強いプラスのGを受けると血液が下肢方向から頭部方向へ流れるため頭痛が生じる。
(2) マイナスのGを受けると血液が頭部方向から下肢方向に流れるため顔面が充血する。
(3) 強いプラスのGを受けると血液が頭部方向から下肢方向へ流れるため視野が狭くなり目の前が暗くなる。
(4) マイナスのGを受けると血液が下肢方向から頭部方向へ流れるため下肢が充血する。

- 問 20 時刻に関する記述で正しいものはどれか。
(1) 飛行計画書には協定世界時を使用し記入する。
(2) 協定世界時「0時」は時刻帯「A」を使用し「0000A」と表すことがある。
(3) 日本標準時は協定世界時より9時間遅い。
(4) 日本の標準子午線の時刻帯には「J」が付けられている。